

エシカル消費自治体サミット

エシカル消費自治体ミーティング

危機管理環境部 消費者政策課

事業内容

エシカル消費の普及啓発を積極的に行ってきた徳島県が主体となり、他の自治体との連携を図り、更にエシカル消費に関する施策を全国各地で発展させるため、平成30年度は「エシカル消費自治体サミット」（以下「エシカル消費サミット」という。）と題し、三好市のシモノ・パーマント（旧下野呂小学校）でエシカル消費に関するトークセッションやイベントを実施した。令和元年度は「エシカル消費自治体ミーティング」（以下「エシカル消費ミーティング」という。）と題し、自治体職員同士で活発な交流ができるようエシカル消費に関する講演やワークショップを実施した。

事業名	エシカル消費サミット	エシカル消費ミーティング
日時	平成30年7月22日	令和元年12月26日
予算	2,047千円	88千円
消費者行政強化 交付金活用額	1,027千円	なし
対象	全国の自治体職員等	全国の自治体職員等
参加人数	500名	30名
宣伝方法	自治体へ文書を発送	自治体へ文書を発送



エシカル消費サミットの記念撮影

事業の特徴・ポイント

【エシカル消費サミット】

- （1）全国自治体等によるトークセッション：各自治体や団体が「エシカル消費に関する取組紹介」を行ったあと、「エシカルな社会の実現に向けて地方ができること」について話し合った。
- （2）「共同宣言（シモノ宣言）」：参加者が一丸となり、より一層のエシカル消費の普及に向け宣言した。
- （3）エシカル消費を身近に感じてもらうイベントの開催：エシカルな傘づくりのワークショップ・人や地域に配慮した藍染め缶バッジの作成等

●シモノ宣言

私たちは、愛する地球から世界と未来を見つめ、公正で持続可能な社会づくりのために一人一人ができることを考え、語り合いながら行動します。

そして、誰一人取り残さない世界の実現を目指し、多様性を尊重し、協働の輪を広げながら主体的にエシカル消費を推進することを宣言します。

今日のこの小さな宣言の灯火（ともび）が、これから燎原（りょうげん）の火となり社会を動かす原動力となることを信じて、10年後、もう一度このシモノの地で集い合いましょう。



エシカルサミットの様子

エシカル消費自治体サミット エシカル消費自治体ミーティング

危機管理環境部 消費者政策課

【エシカル消費ミーティング】

エシカル消費の自治体ネットワークを継続するため、他の自治体、県内市町村と連携し、各自治体からの事例報告やワークショップによる情報交換を行った。

- (1) 講演「エシカル消費自治体ミーティング～エシカル消費の普及は地域活性化の切り札」
(四国大学短期大学部・加渡いづみ教授)
- (2) 自治体取組発表
- (3) ワークショップ：自分が行うエシカル消費の活動を発表するゲーム



エシカル消費ミーティングの様子

期待される効果

エシカル消費を通じた自治体同士の関係づくりにより、今後の施策への展開につながり、エシカル消費を推進していく後押しとなる。

エシカル消費啓発のために工夫した点・今後の課題等

【エシカル消費サミット】

共同宣言を行い、エシカル消費に関する取組が一過性に終わることなく、今後も推進していく決意を確認し合った。

【エシカル消費ミーティング】

一方的に講義をするという形ではなく、ワークショップ（カードゲーム）を実施するといった、参加者等が能動的に、楽しくエシカル消費を学べる機会を作った。

事業の効果・成果

- ・全国の自治体や県内の自治体等の取組を知ることで今後の施策の参考になった。
- ・自治体同士の横のつながりを作ることができ、活動の幅が広がった。

事業年間スケジュール

平成30年				令和元年	
4月	5月	6月	7月	11月	12月
<ul style="list-style-type: none"> ●企画 <ul style="list-style-type: none"> ●講師選定・交渉 ●自治体へ参加依頼・関係者打合せ 事前調整 				<ul style="list-style-type: none"> ●講師選定・交渉 自治体へ参加依頼 打合せ等 	
●サミット実施				●ミーティング実施	